

# 7つの習慣J通信

創成館高等学校1学年  
No.13

2018年10月31日発行

「7つの習慣J」13時間目「第4の習慣:Win-Winを考える」を実施致しました。いよいよ11時間目より、「7つの習慣」の後半の習慣を学んで参ります。第1～第3の習慣で「自分自身が成功する」ための習慣を学んだうえで、第4～第6の習慣では「周りの人たちと一緒に成功する」ための習慣を学びます。授業のなかでも、生徒同士のコミュニケーションがより一層活発になってきました。早速、13時間目の内容をご報告致します。

## ◆13時間目の内容は…◆

自分が勝つ(Win)ことばかり考えて、相手を負かそうとするのでは、良い協力関係を築くことはできません。自分も勝って相手も勝つというWin-Winを考えて、行動することで「周りの人たちと一緒に成功する」ことができます。この時間ではある高校生の事例を元に、Win-Winを考えることについて学びました。

### ある女子バスケットボール部の話

主人公の「私」と親友の真理は、バスケットボール部に所属しています。2人とも代表チームメンバーに選ばれますが、「私」が特に認められるようになると、真理は「私」にパスを回さなくなってしまいます。悩んだ「私」はコーチに相談し、「自分がボールを手にしたら、その度に真理へパスをするように」とのアドバイスを受けます。しかし、私にパスをしてこなくなってしまった真理に対して、私からパスをすることにかんがりの抵抗がありました。しかし、試合のなかで、「私」は真理に対して自分からパスをしました。自分がシュートを打てるときでもボールを持ったら必ず真理にパスをしました。そうすることで、真理も私にパスを返してくれるようになりました。

その後の試合では、真理とのコンビを組むことで最高の得点を記録することができたのです。

この事例によって生徒達は、「Win-Winを考える」という習慣は、自分の目先のWinではなく、お互いの「長期的」なWinは何なのか考えるという習慣であることを理解しました。また、「私」と真理のお互いが「Win-Win」の関係になったきっかけが、「私」が自分からパスを回したことであることに気づきます。その振り返りを通じて、「Win-Win」になるためには、「まずは自分から変わることが必要なのだ」ということを学びました。



## ◀ 今週のチャレンジ ▶

さて、今回生徒が取り組むチャレンジは、

**Win-Winになるために、自分からパスを出してみよう!**

です。

## わたしの気持ち

他の学校の方の体験談を聞いて、自分が相手から嫌なことをされたら、それを返したくなる気持ちにはすごく共感したし、私も実際に相手にされたことを仕返したことがあります。そうすると一瞬の気持ちの良さは感じるかもしれませんが、今後の関係は悪くなる一方だと思います。自分から行動を起こして、良い人間関係を作っていきたいと思います。

私も今まさに人間関係で悩んでいました。何を話しかけても冷たく対応され、嫌な気持ちになっていました。「もう関わりたくない」と思ったこともあったけど、将来、社会に出たときの自分が「苦手な人を避ける大人」でいいのか考えた。冷静に考えると、そういうことでストレスをためる時間があったくないし、プラスに考えることが大切だと思った。だから、その相手にも自分からパスを出してみたいと思う。少し勇気があるかもしれないけど、Win-Winになれば、もっと毎日が楽しくなると思った。

自分はちょっとWin-Loseかなと思いました。身近な人が賞をとったりすると嫉妬してしまうことがありました。だからWin-Winな関係にするためには、相手のことを思い、応援してあげられるように、これから頑張っていきたいです。そうしたら素直に喜べると思いました。

私は部活で、相手が成功しても自分へのプレーがだめだったときには、その二人での成功を受け入れず、自分へのプレーにイライラすることが多いです。自分が思うようにプレーできないことに納得いかず、数か月ずっとその状態が続きました。相手の成功よりも自分のプレーを完成させることを一番にやっていて、周りが見えていなかったと思います。

今日、女子バスケットボールの話聞いて、相手が変わるのを待つのではなく、自分から変わっていった方が相手との関係が良くなり、試合もうまくいくので、私も学校生活の中で、少しずつパスを出して変わってほしいと思います。

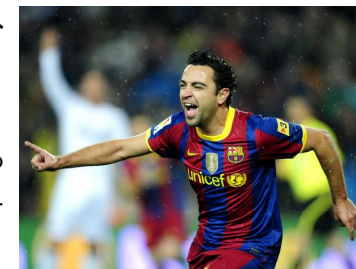
今、関係がうまくいっていない人がいるので、早く自分がしたこと気づいてくれたらいいと思う。自分はあまりパスを出せる勇気がないので、少しでも勇気を出して、それが自信になったらいいと思う。Win-Winの関係になれるように頑張ってみる。

部活をしていて、なんであの人がコートに思うことがよくある。部活の先生にも、そういう考え方はやめなさいと言われていたが、なくしていきたい。自分ばかりが良い思いをするのではなく、相手にも良い思いをさせてあげられる人になりたい。

野球でも練習の時から周りを見て、相手が先に動くより、自分が先に動いて行動することが大事だということが分かったので、今後の部活動や学校生活や私生活などいつでも相手のことを考えて行動したり、自分から先に行動したりしていきたいです。

### FCバルセロナのパス出し名人と言われたシャビのパスの極意

- ①良いパスを出すためには、良いボールの受け方をする
- ②受け手の特徴に合わせてパスを考える



リーダーシップ開発講座  
**7つの習慣J**  
〒854-0063  
長崎県諫早市貝津町621番地  
TEL 0957-25-1225  
FAX 0957-25-1228  
HP <http://www.sohseikan.ac.jp>

### <次の授業は…>

この「豊かさマインド」というパラダイム(考え方)が必要であり、自分自身のためにも「豊かさマインド」を持つことが必要であることについて学びます。次の授業をどうぞお楽しみに。